

会 議 録

1 会議の名称	令和5年度 第2回越前市下水道事業推進対策協議会
2 開催日時	令和5年8月9日（水曜日）午後1時30分～午後2時30分
3 開催場所	越前市水循環センター 会議室
4 出席委員氏名	奥村会長 横住副会長 禿委員 門前委員 加藤委員 牧井委員 小竹委員 大塚委員 眞柄委員 磯野委員 以上10名
5 欠席委員氏名	片山委員 水上委員
6 事務局職員職氏名	建設部 松村部長 上下水道課 山田課長 市村浄化センター所長 小谷副課長 中村副課長 飯塚主幹 齊藤主幹 関口技師 水谷技師 正條主事 勝見主事
7 会議議題	(1) 下水道事業経営の現状について(令和4年度実績) (2) 下水道整備基本構想の進捗状況について
8 傍聴者の数	なし
9 会議資料の名称	令和5年度 第2回越前市下水道事業推進対策協議会 資料
10 会議の内容の要旨	<p>下水道事業の現状と今後の取組および下水道整備基本構想の進捗状況について下記議題に従い報告。取組目標や実施・進捗状況を確認し、今後の方針等を協議することにより、当該計画の実効性の確保を図った。</p> <p>議題1 下水道事業経営の現状について(令和4年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none">・投資の効率化について・経営基盤の強化について・危機管理体制の強化について <p>議題2 下水道整備基本構想の進捗状況について</p> <ul style="list-style-type: none">・広域化・共同化の背景と概要について・計画フレームの検討について・統廃合の検討方針について <p>質問 公共下水道の計画の進捗について、令和4年度末の汚水処理人口普及率が94.9%になっている。この数値は昨年度と比較し0.2%上昇しているが、その原因は地域ぐるみ切替奨励金制度によるものか、それともその他に原因があるのか。また、地域ぐるみ切替奨励金制度は現在どの地区で行われているのか。</p> <p>回答 汚水処理人口普及率が0.2%上昇した原因として、令和5年度末までの下水道整備計画において、北日野地区の公共下水道整備が進んだことが上げられる。公共下水道が整備されれば汚水処理人口普及率も上昇する。また、地域ぐるみ切替奨励金制度の取組みの影響もあり、現在はおおよそ15地区が取組んでいる。今後も普及率向上のため制度は継続していく予定である。</p>

質問 将来にわたって持続可能な下水道（経営基盤の強化）について、大口需要家への営業活動が22件、集合住宅オーナーへの営業活動が27件とあるが、これは実際に営業をした件数なのか、それとも営業をした結果、公共下水道に接続した件数なのか。

回答 営業活動の件数については、実際に営業をした件数である。営業活動による公共下水道への接続は難しい状況であるが、中には使用している浄化槽が古くなってきたら公共下水道へ接続を考えるといったオーナーや店主の方々がおられる。今後も接続促進のため営業活動を行っていく。

質問 汚水処理人口普及率と水洗化率の違いはなにか。

回答 分かりやすく表現すると、汚水処理人口普及率は全ての方々に対しどれだけ水洗化が普及しているかを人口で現し、水洗化率についてはどれだけのご家庭が水洗化しているかを世帯で現したものである。

質問 資産の有効活用の課題の中で、浄化槽普及による搬入割合の偏り・下水道区域拡大による汚泥濃縮性悪化の理由はなにか。

回答 浄化槽普及による搬入割合の偏りについては、現在のし尿処理場で処理しているし尿と浄化槽汚泥の割合が、約25年前に併設した際は5対5の割合であったが、現在は1対9の割合となり毎年変化していることで処理が難しくなっている。また、下水道区域拡大による汚泥濃縮性の悪化については、家久浄化センターでの課題となっており、整備区域が広がっているため、遠くから流れてくる汚水が腐敗しやすく、その汚水が流入する際、沈めて濃縮する方法をとっているが、年々沈みにくくなっているのが現状であるが、これらを共同処理し機械濃縮することで2つの課題を改善していく予定である。

質問 下水道整備基本構想の進捗状況について、説明内容が専門的なことであり、今日資料を出して理解するのは難しいのではないかと。分かりやすく説明していただきたい。

回答 今後、資料を早く提供できるように、まとめ方も含めて検討する。

●令和5年度は全5回の開催予定で、第3回は令和5年9月21日に開催することとし、委員の了承を得た。